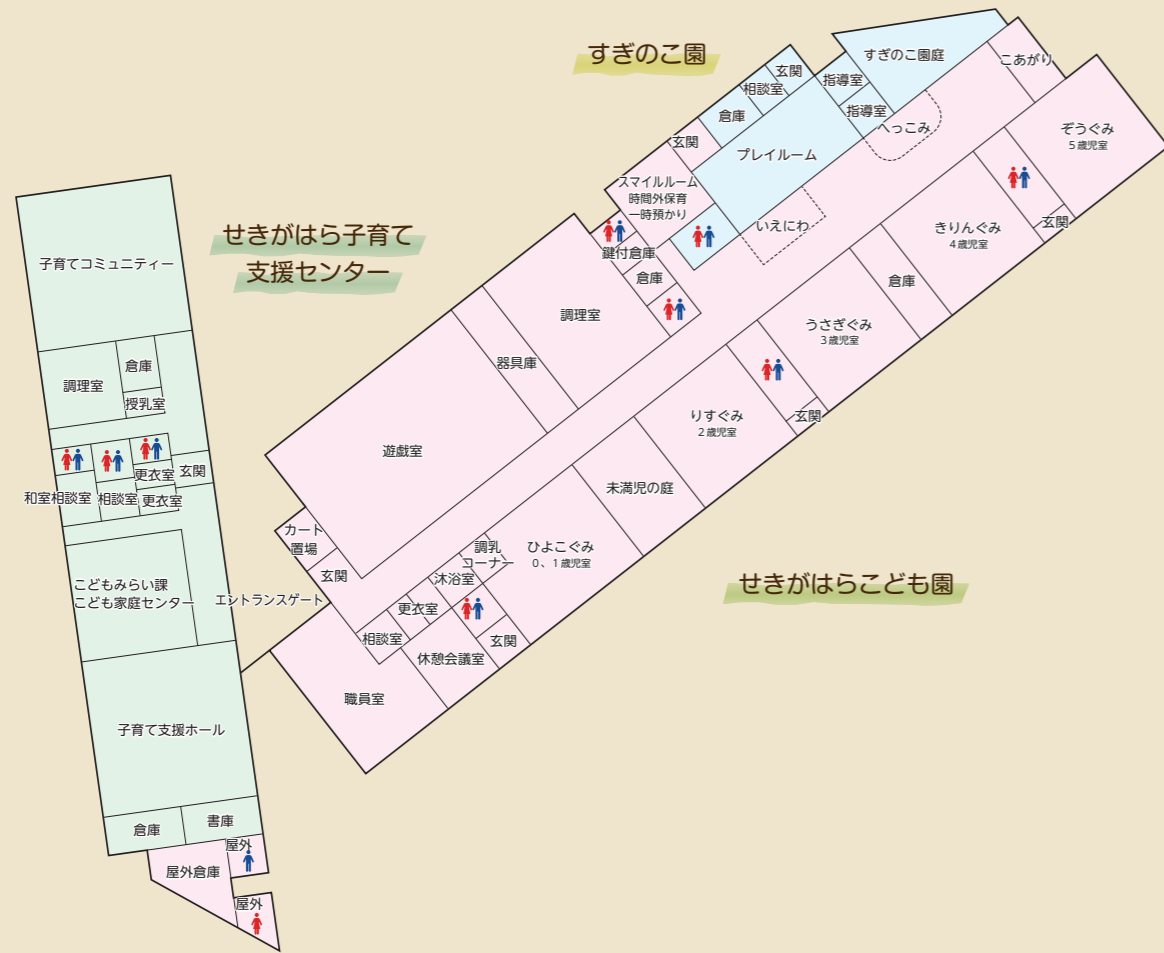


平面図



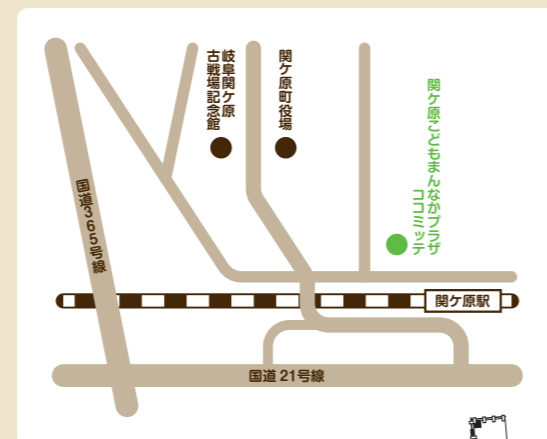
建築概要

名称	／ 関ヶ原こどもまんなかプラザ ココミット	事業費内訳	／ 1,825,651千円
所在地	／ 岐阜県不破郡関ヶ原町大字関ヶ原 811番地の181	建築工事	／ 1,767,758千円
構造	／ 木造・一部鉄骨造・一部鉄筋コンクリート造 平屋建て	基本・実施設計	／ 35,453千円
駐車場	／ 85台	工事監理	／ 22,440千円
床面積	／ 2,540.11㎡		
	こども園・すぎのこ園：	1,635.37㎡	
	子育て支援センター：	506.80㎡	
	屋根1：	99.27㎡	
	屋根2：	30.74㎡	
	キャノピー1：	24.24㎡	
	キャノピー2：	177.96㎡	
	屋外倉庫棟：	37.48㎡	
	ゴミステーション：	9.30㎡	
	砂場日よけ：	18.95㎡	

工期 / 令和6年12月24日～令和8年4月17日

設計・監理 / 大建設株式会社

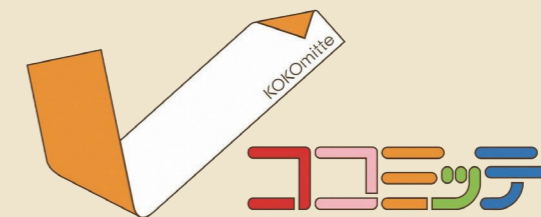
建築工事 / 岐建・室特定建設工事共同企業体



関ヶ原こどもまんなかプラザ ココミット



令和8年4月竣工



関ヶ原町





関ヶ原町長 西脇 康世

● ごあいさつ



このたび、町の子育て支援のシンボルとなる「関ヶ原こどもまんなかプラザ ココミッテ」が、めでたく完成の運びとなりました。これもひとえに、町議会をはじめ、町民の皆様方の深いご理解と、温かいご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

この施設は、昭和50年代に建設された東保育園と西保育園、休園中の今須保育園を統合した「せきがはらこども園」と子育てに関する相談などにワンストップで対応できる「せきがはら子育て支援センター」を併設した、町のどまんなかから「こどもまんなかまちづくり」を推進する拠点となる施設です。

また、この施設は木の温もりが感じられる温かみのある施設として、構造材はもとより内装材についても可能な限り木材を使用するほか、地元ブランドである「今須杉」を活用した床材や壁材、家具等を設け、子どもたちに触れてもらうことで、本町の素晴らしい資源を学び取れる施設となっています。

この施設の完成を契機といたしまして、まちの将来を担う子どもたちが、いきいきと学び、健やかに育つ保育・教育環境づくり、安心して妊娠・出産・子育てができる環境のより一層の充実に努めてまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



遊戯室

大きなステージや音響設備の整った、広くて開放的な「遊戯室」



プレイルーム

安全なマットの上に、クライミングや吊り遊具を設けた「プレイルーム」



保育室

園庭に向けて大きな窓があり、木の温もりあふれる「保育室」



いえにわ

学びの家と学びの庭がひとつになった「いえにわ」



へっこみ

床より窪んだところに絵本が並ぶコーナー「へっこみ」



こあがり

あがったり寝ころんだり本を読んだり、木漏れ日が差す「こあがり」



子育てコミュニティー

床暖房を完備し、寝ころんだり元気に走り回ったり親子で遊べる「子育てコミュニティー」



子育て支援ホール

多目的ホールとして様々な活動に利用できる「子育て支援ホール」

● ロゴマークの意味

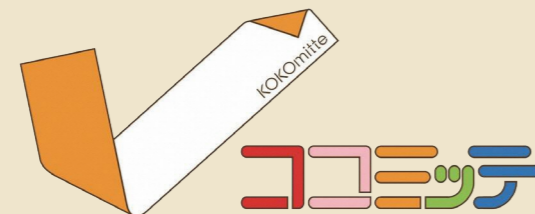
ロゴマークの形は建物の形状を表すとともに、✓マークを表している。

関ヶ原こどもまんなかプラザ ココミッテは町の子育て支援に関する機能を集約した「こどもまんなかまちづくり」を推進する拠点となる施設であることから、その役割が確実に実行されていることを確認する意味合いを持つ。

基本となる「オレンジ色」は、「子ども虐待のない社会の実現」を目指すオレンジリボン運動のシンボルマークの色であり、子どもたちの明るい未来を表している。

● 愛称の考案理由

この施設を通じて、町のどまんなかから「こどもまんなかまちづくり」を推進することから、ドイツ語でまんなかを意味する“ミッテ”という言葉に注目し、“ココ”は“子”にもつながり、子育て支援のイメージもあり、こども政策の中心であることを連想させる“ココ”+“ミッテ”からの造語です。“ココミッテ”はここを見てにもつながり、子育て施策の“ココ”を見てくださいます。



園庭

遊具や畑・プール・園舎に囲まれ、季節風の影響を抑えた「園庭」